

## 小学校算数 第4～6学年

各学年共通した課題		図形を構成する要素に着目して、面積、体積の計算による求め方を考察すること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	大問7 ⑯	○ 面積の求め方についての思考・判断・表現	50.3
5	大問13 ⑰	○ 立体の体積を求めることについての思考・判断・表現	52.3
6	大問19 ㉔	○ 複合図形の体積を求めることについての思考・判断・表現	42.4
— 復習のポイント — 小学校第4～6学年の皆さんへ			
<p>○ 第4学年、第5学年では、図形の面積や体積を工夫して求めるときに、「分けたり、おぎなったりする考え方」ができるか確認しましょう。面積を求めるときには正方形や長方形をもとにして考えること、体積を求めるときには立方体や直方体をもとにして考えることがポイントです。</p> <p>○ 第5学年で立体の体積を立方体や直方体に分けて求めたのに対し、第6学年では、立体を角柱とみて、角柱の体積の公式(底面積×高さ)を使った体積の求め方を学びました。底面積を求めるときに、図形を「分けたり、おぎなったりする考え方」が有効になる場合があるので、第4学年での学習内容を確認し、生かせるようにしましょう。</p> <p>○ いずれの問題も、図と式を関連付けて考え、表現する力が求められています。日頃の学習から、図、式、言葉などを使って自分の考えを書いたり、説明したりして、表現する力を高めていけるようにしましょう。</p>			